

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域の利用者ニーズに合わせた保育園運営を心掛けています。</li> <li>2) 大切なお子様の生命をお預かりしている事を常に頭に入れて、保育をしています。</li> <li>3) 保育（養護と教育）の専門性を発揮し、「運動・食事・休養」を念頭に入れ子ども達の健やかな成長を見守りたいと思います。</li> <li>4) 特別な経営理念や特色ある保育方針を強調することなく、入園を希望する皆様誰もが利用し易い保育園運営を心掛けています。</li> <li>5) 保育士の確保に努め、年度途中でも入園が可能な体制を整えたいと思います。</li> </ol>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>大切なお子様の生命をお預かりしている事を常に頭に入れて保育をしてもらいたいと思います。職員数が多い為、役割分担が詳細に決められているが、少しずつ経験を重ねて様々の事を理解、掌握してもらいたいと思います。職員間で少しでも切磋琢磨して、お互いに良い刺激にあることを期待しています。 日常の業務推進のためにはプライベートの時間もしっかりと充実してもらいたいと思います。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>社会福祉施設に勤務している意識を忘れず、向上心を持って業務に取り組んでもらいたいと思います。大切なお子様の生命を預かり、乳幼児期の重要な成長期間を国家より委託された施設で、保育に従事していることを理解し、向上心と誇りを持ってもらいたいと思います。又、昨今「女性の社会進出」の環境が高まっています。保育園に従事する職員は女性が非常に多いです。先駆者としての誇りも持ってもらいたいと思います。最後に「職場は楽しく」を念頭に、一人一人が良い職場づくりを意識してもらいたいと思います。</p>

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	たくさん遊び、健康な身体をつくるという目標のもとに、子どもは明るく元気で、健やかに育っています
	内容	「健康で明るく心豊かな子ども」という園目標のもとに、子どもは明るく元気に活動しています。自主的にあいさつをしたり、外遊びでは思いきり体を動かして遊んだり、室内では製作や構成遊びに集中しています。5歳児クラスの絵画は色彩も豊かで画面いっぱい体験したことを描いています。子どもの活動は、動的な活動と静的な活動をバランスよく取り入れており、一日の流れの中には「目を閉じて心を落ち着かせる」時間があり、子どもは真剣な表情で目を閉じ心を落ち着かせています。そのあとは元気に活動し、心身ともに健やかに育っています。
2	タイトル	職員の自主性を尊重することで、自ら学び互いに協力しあい、相談しやすい職場風土があります
	内容	園が職員に期待することは、社会福祉施設に勤務していることを念頭に、向上心を持って保育に従事してほしいということです。職員は50名以上で、職員の自主性を重んじて、各自が学び、考えて行動することを周知しています。経営層での決定事項を必ず職員に伝えるほか、日ごろから事務室などで顔を合わせてコミュニケーションを取ることで、相談しやすい環境となっています。多くの職員から協力的で良好な人間関係、各休暇を取得でき働きやすい、という声があがっています。自ら学び、互いに協力しあう職場風土があります。
3	タイトル	園行事の取り組みや地域への行事参加と、行事を無理なく取り入れ、子どもは行事を通して達成感を得ています
	内容	行事は、日ごろの保育の成果を発表する取り組みと考え、日常の活動と行事をバランスよく取り入れていきます。運動会では、体操教室の集大成を年齢発達に応じて発表して、保護者から称賛されています。特色ある和太鼓演奏は、園行事だけでなく、地域のお祭りで発表し、地域の中の保育園として根付いています。遠足は地域の里山民家に出かけ、豊かな自然の中で体を動かしたり、さまざまな植物に触れたりして自然科学への目を培っています。夏祭りは模擬店や手作りのみこしを担ぎ、楽しいひとときとなるなど、行事の充実を図っています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	各自の役割と責任を明確にして、職員や関係者に伝えることができるよう職務分担表の作成を期待します
	内容	園長は、園を統括し最終的に判断し責任を担っています。毎朝、正門に立ち、保護者と子どもを出迎え、安全管理にも取り組み、地域ではさまざまな職務を果たしています。職員は職務を理解し、職員アンケートからも、経営層がリーダーシップを発揮している様子が見えがえす。現在、クラスなどの担当表はありますが、職務内容が明記されたものはまだありません。経営層、保育士、専門職など各自の役割を明確にすることで、園の関係者にわかりやすく伝えたり、さらなる業務の標準化の確保を期待したりできるでしょう。職務分担表の作成を期待します。
2	タイトル	地域性や職員体制などの状況をふまえて、園としての課題を設定し、達成状況を把握できるような中長期計画の策定を望みます
	内容	園の理念の「園目標」を踏まえて年間事業計画を策定し、園長の統括のもとで必要に応じて課題に取り組んでいます。中長期計画は策定されていません。地域性や職員体制などの状況を踏まえて計画の策定が望まれます。たとえば、発達支援に関する関係機関や小学校との連携は、さらなる働きかけにより発展が期待されます。また、園では効果を発揮できるマニュアルの作成については、改善を要すると考えています。園としての課題を洗い出し、具体的な取り組みを示して達成状況を把握できるような計画策定を期待します。
3	タイトル	職員意外の相談窓口を保護者に伝えていますが、わかりやすく伝わるよう周知方法の工夫を望みます
	内容	保護者の要望、相談に関しては、「ご意見、ご要望の解決のための仕組みについて」のフローチャートを作成し、入園の際に保護者に配付し、説明しています。園の受付先のほか、職員意外の相談窓口として、第三者委員の氏名、住所、電話番号を明記しています。しかしながら、利用者調査の結果を見ますと、保護者にわかりやすく伝わっていないようです。例年、卒園式で第三者委員があいさつをしています。どのような取り組みが有効か検討し、運動会で第三者委員にあいさつをしてもらったり、園だよりに掲載するなど、周知方法の工夫を望みます。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-2-2	職員のやる気向上に取り組んでいる
タイトル①	経営層は、職員の良いワークライフバランスに向けて力を入れて取り組んでいます	
内容①	<p>保育を充実させるために、園長は職員のワークライフバランスも重要だと考えています。「職場は楽しく仕事は厳しく」をモットーに、残業はせず、就業時間を有効活用できるように組織の体制作りに取り組んでいます。休憩時は「可視化」に配慮して事務所でコミュニケーションを取り、業務はできるだけ職員の負担を増やさないような環境作りに努め、職員の自主性を尊重しています。その結果、多くの職員から、「一生懸命保育をできる」「相談をしやすく職場は楽しい」「有給休暇や産休育休を取れるので安心して長く働ける」という声が寄せられています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-2	家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている
タイトル②	登降園時の対応をきめこまやかに実施し、保護者に安心感を与えています	
内容②	<p>登園時には、毎朝8時30分から9時20分ごろまで園長が門外に立ち、保護者と子どもを迎え入れています。交通事故防止対策のため、交通擁護員も朝と夕に立っています。子どもと保護者への朝夕の対応をきめこまやかに実施しています。園内では、担当職員以外の職員も、明るくあいさつで登園した保護者と子どもへの対応にあたっています。言葉かけや優しい視線をし、子どもは安心して保護者と別れたり、保護者も「おねがいます」とあいさつをしています。一日の始まりと終わりを、子どもと保護者が気持ちよく過ごせるように配慮しています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル③	見て、触って、作るという食の取り組みを実施し、食への関心を子どもにもたせています	
内容③	<p>「見て、触って、作って、楽しく」をテーマとして食への関心を子どもにも提供しています。魚一匹を解体して見せたり、じゃが芋掘りでは、じゃが芋に触れる感触を楽しんでいます。作ることは、市の特産物のうどん作りを行っています。うどん粉の生地を伸ばし細長く切る調理体験をし、こまつ菜の入った郷土料理のうどんを食べています。毎日の給食時には栄養士や調理師が、給食の食材の話やペーパーサートなどを使ってわかりやすく説明したり、食事マナーにも留意しています。子どもはおいしい給食を喜んで食べるとともに、食への知識も深まっています。</p>	

## I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 <b>9/9</b>
	<b>評価項目1</b> 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <span style="float: right;">評点(〇〇〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;"><input type="radio"/> 非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/> 非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/> 非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;"><input type="radio"/> 非該当</span>
	<b>評価項目2</b> 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;"><input type="radio"/> 非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;"><input type="radio"/> 非該当</span>
	<b>評価項目3</b> 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <span style="float: right;"><input type="radio"/> 非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float: right;"><input type="radio"/> 非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <span style="float: right;"><input type="radio"/> 非該当</span>

## カテゴリー1の講評

### 園目標「太陽のような子どもにならましよう」をホームページとしおりに明記しています

当園は、特別な経営理念や特色ある保育方針を強調することなく、入園を希望する誰もが利用しやすい保育運営を心掛けています。ホームページと園のしおりに「園目標」を明記しています。「太陽のような子どもにならましよう」「健康で明るく心豊かな子ども」のほか、3つの項目、「たくさん遊び健康な身体をつくる」「人との関わりや身近な動植物と触れ合いながら命の大切さを知り、おもいやりの気持ちを育む」「音楽や詩を通して明るく豊かな心を培う」などを掲げています。

### 園長は、子どもが健やかに育つように園の統括を担いリーダーシップを発揮しています

園長は、子どもが健やかに育つように園の統括を担い、リーダーシップを発揮しています。職員が保育に力を注げる環境として、楽しい職場作りを心掛け、休憩場所や日頃のコミュニケーションなど工夫して取り組んでいます。地域では、ネットワークに参画して多様な職務を果たすなど、役割と責任に基づき行動しています。職員は経営層の役割を理解していますが、職務を具体的に明記されたものは作成されていません。今後は、職員や関係者にもわかりやすい形で伝えることを可能とするためにも、職務内容を明確にされることを期待します。

### 重要な案件に関する決定事項を、会議で全職員に周知するしくみを整えています

法人の理事会を実施し、総括、事業計画、重要な案件を討議し決定しています。常勤職員会議を月に一度行い、子どもの安全対策や、行事に関してなど必要な案件を討議しています。翌日に非常勤職員会議の実施を定めており、決定事項を職員に周知するしくみが整っています。また、毎日朝礼を実施し欠席した職員は、内容が記載された「朝礼出勤簿」を閲覧し捺印しています。保護者には、重要な案件の決定事項を随時園だよりや配付物、掲示、今年度から導入した緊急メールにて周知しています。今後、案件によっては決定経緯を伝えると  
なお良いでしょう。

カテゴリ2		
2	経営における社会的責任	
サブカテゴリ1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

## カテゴリー2の講評

### 職員が守るべき法や倫理などについては、自らの学びを大切にしています

園が職員に期待することの一つは、社会福祉施設に勤務している意識と倫理観を忘れずに向上心をもって業務に取り組むということです。職員自己評価の項目「社会人、福祉サービスに従事する者として守るべき法、規範、倫理などを周知しているか」では、回答した職員すべてがはいと答えています。これらの学びや、勤務時間外の言動などについて職員が自ら考えて取り組むことができるように示唆するなど、自主性を尊重しています。新任研修では、「社会人として、きし保育園の職員として」の自覚や、守秘義務、報告、連絡、相談などを周知しています。

### 園の情報が、よりわかりやすく伝わるようにホームページをリニューアルしました

ホームページの園情報が、よりわかりやすく伝わるように担当職員が検討してリニューアルしました。保育内容、園の概要、年間行事、各便りのほかに財務諸表、スタッフのブログ、苦情の申込状況なども掲載し、透明性を高めるために取り組んでいます。また、第三者による評価結果を公表しています。近隣の店舗には、園庭開放の掲示をしていますが、さらに地域の人目に触れやすい情報の発信を期待します。園長は、地域の一員として会議に参画し、「男女共同参画推進」「小学校区域みんなでまちづくり会議」など協働課題について取り組んでいます。

### 「ボランティア申込書」を活用するなど、ボランティアの受け入れ体制を整備しています

ボランティアの受け入れ体制を整備し、社会福祉関連機関を通してはありますが、園への直接申し込みも規定に基づき受け入れています。受け入れ担当は、園長、副園長、主任の3名です。「ボランティア申込書」には、「裏面記載の注意事項を理解し同意します」と明記し、署名をしてもらい、18歳未満には保護者の署名捺印欄が設けられています。裏面には、「ボランティア活動をはじめるにあたって」として、5項目が抜粋され、わからないことはすぐに職員に尋ねることや、守秘義務、あいさつ、援助の際の声かけなどがわかりやすく記載されています。

カテゴリ3		
3	利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 <b>8/8</b>
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ3の講評		
<p><b>保護者の要望、相談窓口のフローチャートを保護者に配付し周知しています</b></p> <p>保護者がいつでも園への意見を投函できるよう、玄関近くに大きなポストが設置され、ポストについては懇談会などで保護者に周知しています。保護者の要望、相談に関しては、フローチャートを作成し、入園時に保護者に配付して説明をしています。ホームページには、苦情の申し込み状況を掲載し、保護者の要望にはすみやかに対応し、お迎え時の声かけを改善するなどしています。入園時に外部の苦情受け付け窓口である第三者委員の氏名、連絡先を説明していますが、保護者にわかりやすく伝わっていないようです。周知方法の時期などの工夫を望みます。</p> <p><b>アンケートなどで保護者の意向を把握してサービス向上のために取り組んでいます</b></p> <p>外部の利用者アンケートを毎年実施するほか、園では4月の給食試食会や行事の後でアンケートを実施し、保護者の意向把握に取り組んでいます。園で行うアンケートはあえて記名式とし、責任を持った意見を把握したいと考えています。アンケートの結果は真摯に受け止め、検討後対応に努めています。外部の利用者アンケート結果については、園長から全職員に周知し、職員会議で話し合っています。園長は、毎朝門の外で保護者と子どもにあいさつをしているので、行事の感想を聞くなど直接顔を会わせて意向把握に努めています。</p> <p><b>地域の会議に出席して、福祉の動向やニーズの収集に取り組んでいます</b></p> <p>園長は、市役所や家庭支援センターと連携し、市の園長会などさまざまな会議に出席しています。社会福祉関連機関においては、研修部と総務部に在籍するなど、都や市の動向をはじめ福祉ニーズの収集に取り組んでいます。活発に情報交換をして、園に持ち帰った情報については、園長、副園長、主任、副主任で検討し、特に職員や子どもと保護者に直接関係のある内容については周知しています。収集した情報は、事務所のファイルに保管されています。園長は、防犯パトロール隊で活動するなど、地域の声を把握するさまざまな機会があります。</p>		

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 10/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(○○●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる <span style="float: right;">評点(〇〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-4の講評		
<p><b>具体的な取り組みを示して、達成状況を把握できるような中長期計画の策定を望みます</b></p> <p>当園は、この地で40年目を迎え、園児数は200余名、職員は非常勤も合わせて50名以上在籍しています。園長のリーダーシップのもとで運営され、子どもは健やかに育ち、多くの職員が働きやすい職場であると感じています。単年度の事業計画を策定し、毎年課題に取り組んでいますが、中長期計画は策定されていません。今後は課題を洗い出し、地域性や職員体制などの状況を踏まえて計画の策定が望まれます。具体的な取り組みを示して達成状況を把握できるような計画を期待します。</p> <p><b>事業計画は、職員や保護者の意向を反映して策定しています</b></p> <p>単年度の事業計画は、年4回実施している法人の理事会で決定しています。理事会での決定事項は職員会議とその翌日に実施される非常勤職員会議にて周知されます。計画については、全職員が出席する毎月の職員会議で討議され、職員の意向が反映されるしくみがあります。現状を踏まえ、利用者アンケートによる保護者の要望や意見も参考にしています。安全管理、健康管理、会議、研修、災害対策など、計画を策定し着実に取り組んでいます。</p> <p><b>「緊急メール配信システム」を7月から導入するなど安全確保、向上に取り組んでいます</b></p> <p>非常時の対応マニュアルを策定し、大地震時は、園舎内(朝夕、延長の保育)、園舎外、散歩、遠足などについて具体的な対応が記載されています。非常食、水などの備蓄や、子どもの防災頭巾を備え、非難、引き渡し訓練を実施しています。さらに、平成27年7月から「緊急メール配信システム」を導入しました。また、火災対策としてオール電化を取り入れています。職員は、消防署による救命講習会でプールでの対応を学んだり、AEDの使い方を再確認したりするなど、子どもの安全確保、向上のために取り組んでいます。</p>		

カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>4/8</b>
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(○○●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(○○●●●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>7/7</b>
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p><b>理念を実現するための職員育成や評価の考え方などを定めることを望みます</b></p> <p>新任期の研修において、「新任期に求められる職員とは」を周知しています。健康管理、円滑な人間関係を保つための基本的な対応、園の運営、各業務と担当業務内容、書類の理解などができることです。人事考課は園長が公平に判断し、職員が自分自身で考えて行動することを基本としています。人事制度に関する方針は明示されていません。理念を実現するための職員育成や評価の考え方などを定めることを望みます。</p> <p><b>産業医が職場を巡回するほか産前産後休業、育児休業などを取得しやすく改善しています</b></p> <p>職員配置については、常に完全であることよりも、職員が成長できるように配慮しています。園では、職員一人ひとりに良い職場作りを意識してほしいと考えています。職員は50名以上なので、就業状況、メンタルヘルスを把握するためにクラスリーダーをはじめ、経営層は職員とコミュニケーションを密に取っています。そして、今年度から、産業医が園の状況を確認し、職場巡回をしています。さらに、有給休暇、産前産後休業はもとより、育児休業取得の要件を明確にし、就業状況を大幅に改善しています。</p> <p><b>職員の意向に基づいた個人別の育成計画の策定を期待します</b></p> <p>職員に持ってほしい使命感は、「社会福祉施設に勤務している意識と向上心」であり、質の高いサービスを提供するために、職員は年1回以上の研修を受講し、園では勤務体制や夏休みの研修費の補助などを積極的に支援しています。毎年下半期に副園長と主任による個人面談で能力向上に関する希望を把握し、経験年数や専門性を考慮して適した研修を勧めることもあります。しかし、職員の意向に基づいた個別の育成計画策定には至っていません。働きやすい職場環境が整備され、平均在職年数も比較的長いので、一人ひとりの個人別育成計画の策定を望みます。</p>		

カテゴリ7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリ1(7-1)		
情報の保護・共有に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>6/7</b>
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点(000●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ7の講評		
<p><b>職員は、個人情報保護の趣旨を踏まえて保護、共有に取り組んでいます</b></p> <p>園長は、朝礼や職員会議で情報の重要性を周知確認しています。職員の自己評価では、多くの職員が、個人情報保護の趣旨を踏まえて保護、共有していると回答しています。機密性を考慮し、情報の取り扱いにはパスワードを設定し、USBメモリーに保存した情報は園長が管理しています。デジタル情報は担当者のみが使用し、児童票などは鍵付きの書庫に収納し、必要なときはだれでも閲覧できますが、鍵は園長が管理しています。保存した情報を把握して使いやすくするために、内容ごとに記録媒体を分けて整理するなどの工夫をしています。</p> <p><b>開示請求の対応方法を明示されることを望みます</b></p> <p>「個人情報への取組について」にプライバシーポリシーを明記しています。法人の情報管理規定を策定し、内部情報の漏洩の禁止として、内部情報を法人外に持ち出してはならないことなどが明示されています。法人ネットワークの安全性確保については、原則として法人内での業務上必要な情報伝達を目的とすることなどが明記されています。開示請求に関しては明記がありませんので、対応方法を明示されることを望みます。</p> <p><b>職員やボランティア受け入れ時には、文書と口頭で個人情報保護の説明をしています</b></p> <p>入社時や実習生、ボランティア受け入れ時には、担当者が個人情報の取り扱いについての文書に加え、口頭でわかりやすく説明しています。「ボランティア申込書」には、裏面記載の注意事項に同意するという一文が明記され、署名捺印欄が設けられています。裏面の注意事項5項目の中には、「秘密は守る」として、活動中に知った、子どもや家族の情報を絶対に外では話さない、個人が限定されるような情報は秘密にすること、必要以上のことは聞かないなどが明記され、太線の太文字で「ボランティアにも責任や義務があります」と注意喚起しています。</p>		

カテゴリ8	
8	カテゴリ1～7に関する活動成果
サブカテゴリ1(8-1)	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ4:「計画の策定と着実な実行」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<b>7月に緊急メール配信システムを導入し、安全確保の向上に取り組みました</b> 大きな地震や火災での子どもの安否などについて、通知することができる緊急メール配信システムを7月に導入しています。保護者の登録は徐々に進み、安全確保の向上に向けて取り組みが始まりました。また、今年の夏祭りでは、天候不順により開催か否かの決定を開始直前まで検討し、最終的に1時間前に雨のため中止を決定しました。その際、導入した緊急メールにて保護者に配信することができました。行事などの緊急連絡がスムーズに行われるようになるとともに、安全確保のための体制が整ってきました。	
サブカテゴリ2(8-2)	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ5:「職員と組織の能力向上」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<b>育児休業取得を改善し、安心して働ける職場になっています</b> 園長は、「職場は楽しく仕事は厳しく」をモットーにしており、職員は、経営層に相談しやすいと感じています。マラソン、新人歓迎会などを開催して親睦を深め、職員間は、協力的で人間関係が良好のようです。また、園長はワークライフバランスに着目し、業務推進のためにはプライベートの時間も充実が必要だと考えています。残業をせず、有給休暇が取得しやすい配慮をしていますが、特に今年度は、産前産後休業に加えて育児休業取得の要件を明確にして改善に取り組みました。安心して働ける職場になり、職員のやる気向上につながっています。	
サブカテゴリ3(8-3)	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ7:「情報の保護・共有」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
<b>園の情報や様子をわかりやすく伝えるためにホームページをリニューアルしました</b> 保護者から園のホームページについて質問を受けることがありました。そこで、ホームページの内容を見直して、見る側にわかりやすく伝えるように、職員で係を作って検討し、リニューアルしました。写真やその日のでき事を掲載して、園の姿、子どもの様子がよくわかるようになりました。年間行事を月ごとに写真入りで紹介し、各便りにアクセスすることができ、保護者がいつでも行事などについて確認することもできます。給食の写真のほかに、「お給食」では、食育の取り組みなどをスライドショーで掲載するなど、工夫を凝らし改善に取り組みました。	

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

計画的に園の運営に取り組み、財政状態は順調に推移しています

当園は、この地で40年目を迎え、園児数は200余名、職員は50名以上在籍しています。入園を希望する誰もが利用しやすい保育園運営を心がけ、年度途中でも入園が可能な体制を整えるべく、職員の確保に取り組み実践しています。定員以上を維持して人件費は増していますが、活発な事業活動に取り組んでいます。テントを買い換えるなど必要なものには支出し、事務費などは削減しています。その結果、純資産は前年比より増加し、財政状態は順調に推移しています。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している  
・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者アンケートと朝の受け入れで、保護者の声を受け止め改善に取り組んでいます

毎年4月にクラス懇談会と給食試食会を開催し、保護者に記名式のアンケートを実施しています。記名式なので、保護者一人ひとりの責任をもった意見を収集することができ、クラスの運営や給食の提供に役立っています。また、今回の第三者評価の利用者調査結果を受けて、子どもが一日元気に過ごした場合の保護者への声のかけ方を改善しています。園長は、毎朝保護者と子どもを迎え、職員は、必ず受け入れ時に「いねいな声かけ」をしています。保護者と毎朝顔を合わせる中で声をかけ、貴重な意見と要望を把握しています。保護者の声を真摯に受け止め改善に取り組んでいます。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(0000)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	サブカテゴリ1の講評	
	<p>園情報はホームページやパンフレットの内容を工夫し、提供しています</p> <p>利用希望者に対する園情報は、ホームページやパンフレットを通して提供しています。ホームページは、職員がかかわってリニューアルしました。ホームページを開くと「太陽のような子供たち」と題して子どもたちの様子が映し出され、そのほか「保育内容」「年間行事」「お給食」などの項目があり、園情報がわかります。特に「お給食」では、「おさかなのおはなし」や「トマトのおはなし」を掲載し工夫が見られます。パンフレットは写真入りのわかりやすいもので、「子どもにやさしい園舎」の説明は、快適な空間が想像できます。</p> <p>他機関への情報提供は定期的に発信し、園の透明性を伝えています</p> <p>他機関への情報提供は、市役所へ定期的に年次報告書や決算報告書を提出しています。パンフレットも置かせてもらっています。また、園長は、行政や関係団体(市内園長会や保健所、社会福祉関連機関など)と連携を緊密に取り、情報交換や情報提供を行っています。一般の方がいつでも見られるホームページには、園だよりほかを載せ、園の運営や取り組みを伝えています。充実したホームページの情報は、園状況の透明性を伝える役割を果たしています。</p> <p>入園の問い合わせや見学は随時受け入れ、温かな対応をしています</p> <p>入園の問い合わせや見学については、11月頃が多く、可能な限り経験年数が少ない職員が対応するようにしています。園長の考えとして、経験年数の少ない職員の、保護者対応のしかたへの学びの機会となるよう配慮しています。経験年数の少ない職員が対応困難な場合は、副園長が案内をしています。園内を一通り見てもらったり、見学者のお子さんの対象年齢のクラスを紹介したりしています。副園長は見学者の話聞くことで、ニーズを読み取ることができ、見学者の要望に応じて子育ての相談や入園に関することなど対応をしています。</p>	
	サブカテゴリ2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	評点(000)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している

<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		<b>評点(〇〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>サブカテゴリー2の講評</b>		
<p><b>入園前には個人面談や全体説明会を行い、ていねいな対応をしています</b></p> <p>入園前の2月には、個々の保護者に来園してもらい個別面談を実施しています。個別面談は、副園長と主任がかかわり、「新入園児面接表」や「入園のしおり」を基に内容の聞き取りや説明をしています。アレルギーを持つ子どもは、アンケートを取っています。3月に入って全体説明会を行ない、嘱託医の健康診断や「重要事項」の冊子を基に説明をしています。園長は、新入園児の保護者からの質疑応答に対処しています。各クラス担当職員への新入園児情報については、面談後、書類を見せたり、子どもや保護者の様子を伝え、情報の共有化を図っています。</p> <p><b>入園直後の子どもに対して、園生活に慣れるようこまやかな配慮をしています</b></p> <p>新入園児が無理なく園生活に慣れるように、新入園児が多いクラスには、フリー職員や主任、副園長が保育の応援に入っています。4、5月の当番のシフト編成は、受け入れ時やお迎え時に担任がいるようシフトを組んでいます。入園直後の子どものストレス軽減のため、短時間保育を保護者に依頼したり、保護者の就労状況によっては、保護者の要望に可能な限り対応しています。子どもが園生活に慣れるまでの過程を「慣らし保育記録」に記載しています。0～5歳クラスまで、40名以上の多数の新入園児を迎えるための対策を取っています。</p> <p><b>卒園や退園の際には、在園時の様子を伝え、支援につなげています</b></p> <p>卒園時には、入学予定の小学校に保育要録や支援シートを渡し、学校との連携を密にしています。途中で退園する子どもは、クラスによってカードを作り手渡しています。近隣に引っ越しをした子どもや保護者には行事のお誘いをしています。遠距離の地方に引っ越しをした子どもと保護者が運動会行事に参加した例もあります。近所に遊びに来た時に、気軽に立ち寄り親子もいて、退園後もつながりを持っています。その際は子どもの近況の様子も聞け、退園後の生活の様子をうかがい知ることができています。</p>		
<b>サブカテゴリー3</b>		
<b>3</b>	<b>個別状況に応じた計画策定・記録</b>	<b>サブカテゴリー毎の標準項目実施状況</b> <b>12 / 12</b>
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		<b>評点(〇〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3  
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4  
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ3の講評

**子どもの心身や生活状況を記録し、発達状態を確認しています**  
 子どもの心身や生活状況は、児童票や健康診断表、個人面談票などに記録するとともに、日々の様子は連絡帳から把握しています。個別の子どもの発達状況は、養護と教育にわかれている記録簿に、0～2歳児クラスは年3回(4半期ごと)、3歳児クラス以上は、年2回(前期・後期)発達の推移を記録しています。記録上の留意点として、子どもの姿を観察し記録しています。新人職員はクラスリーダーが書き方の指導を行い、クラス内で個別指導計画や記録の確認をして、日常の保育に生かしています。また、他クラスの職員も閲覧できる状態にしています。

**保育課程を踏まえ、0～2歳児クラスは個別指導計画を立てています**  
 保育課程を踏まえ、クラスの年間指導計画はより具体的に立案しています。月間指導計画は、0～2歳児クラスは個別の指導計画を立て、個々の子どもの保育に携わっています。指導計画立案については、各クラスで立て、主任が閲覧し指導を行い、園長が最終的に確認し押印しています。指導計画類の提出日を決めており、月末前の決めた曜日に提出しています。計画の反省・見直しは職員会議で実施しています。また、保護者には毎日、日誌が見られるよう、玄関の一定場所に置いたり、園だよりにも各月の「子どもの望ましい姿」を記載しています。

**保育内容や子どもの様子、連絡事項を職員全体で共有しています**  
 報告・連絡・相談を漏れなくするよう努めており、朝礼や口頭、書類を使い伝達の徹底をしています。朝礼は、「朝礼連絡表」に子どもの状態や事務連絡ほかを簡潔に記載し、出勤した職員は閲覧し押印をしています。金曜日の昼の時間に事務室に集まり、土曜日の体制や大事な連絡事項を伝えています。当番のシフト表を配付したり、子どもの出席簿もあり、出欠の有無を把握できるようにしています。早朝保育や夕保育、延長保育時に申し送りのミスがないよう「早番遅番伝言票」を作成しています。子どもや保護者、職員間の連携に配慮しています。

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
<b>評価項目1</b> 子どものプライバシー保護を徹底している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している <span style="float: right;">評点(〇〇〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<b>子どもや保護者のプライバシー保護に向けて、意識の統一を図っています</b> 子どものプライバシーの保護については、排泄の失敗時には、年齢に関係なくその場で手際よく処理し、子どもが恥ずかしいと感じないよう対処をしています。園便りの誕生児の紹介をひらがなで書く配慮もしています。肌や髪の毛の色や形が違ってても、子どもは自然体で接しており、職員も個別の個性を把握し保育をしています。保護者に対しては、関係機関と情報を交換する際は、必要に応じて同意を得ています。ホームページに子どもの写真を載せるときは、載せたくない保護者は申し出るよう声掛けをしたり、個別に同意を取っています。		
<b>保育方針や保育目標を遵守し、子どもの健やかな育ちを見守っています</b> 子どもを尊重する保育として、保育方針である「子どもの大切な命を預かる業務の下、保育士の専門性を発揮し、子どもの健やかな育ちを見守る」という姿勢を大切にしています。子どもの人権尊重でもある保育方針を、園長は機会あるごとに職員に伝えています。日々の保育の中で安心・安全な環境作りや子どもの意思を大切にすることを重視しており、子どもの育ちを見守っています。「元気に遊ぶ」を旨としており、子どもは、のびのびと遊び、元気いっぱい、静と動のある園生活の中で自己を発揮しながら楽しく過ごしています。		
<b>福祉施設の職員として、言動や身だしなみについて自覚を促しています</b> 子どもに接する際の職員の言動や身だしなみなどについては、職員会議の中で、福祉施設の職員として、日常の行動のあり方などを話し合い、相互確認をしています。園長は、「社会人として、〇〇保育園の職員として」のあるべき姿を文書にまとめ、職員に伝えています。内容は、社会人として、組織の一員としての自覚として「見られている」意識を持つ、子どもや保護者、近隣の方から「先生」と呼ばれる自覚を持つことを明記しています。新人職員をはじめ、職員への注意喚起はリーダー層が担い、気づいた折々、職員に行動規範を伝えています。		

サブカテゴリー6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

11/11

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

**「保育マニュアル」をはじめ多数のマニュアルを作成し、活用しています**

マニュアル類については、「保育マニュアル」や「園外保育マニュアル」「保健マニュアル」「虐待園児確認マニュアル」「非常時の対応マニュアル」ほか、多数のマニュアルを作成しています。これらのマニュアルは、全クラスに置いてあり、クラス内で活用しています。マニュアルの見直しは、不都合が生じたときに職員会議で適宜、確認や見直しをするほか、年度当初には定例的に見直しや確認をしています。業務の標準化を旨としており、職員の自己評価でも、「マニュアルが見直されてより安全に良い保育ができるようになった」と意見がでています。

**業務内容の充実や安全な保育環境作りへの意識の統一を図っています**

業務内容の充実に関しては、毎月、初日の職員会議で報告や討議を行っています。非常勤職員に対しても、翌日、非常勤職員会議を開催し、常勤職員と非常勤職員ともども、情報の共有化を図っています。全職員が一体となって保育業務の充実を旨とする姿勢を大切にしています。保育環境については、安全を第一としており、事故やけがの対応をていねいにしているほか、「感染症マニュアル」の活用や「嘔吐物処理方法」を生かし感染症予防をしたり、衛生管理の日常自主点検表(調理室、調乳用)を使用したりしてチェックをしています。

**職員の質の向上や保育のレベルアップのため、研修受講やOJTを行っています**

職員の質の向上や保育のレベルアップのため、福祉施設として企業全体を鑑みた外部研修を受講する機会を設けています。研修後は、報告書を書き感想を記入し、時間のある時は職員会議で報告をする機会を設けています。新人職員に対しては、外部の新任職員研修会に参加させたり、園内では「新任期に求められる職員とは」のプリントを配付し、報告、連絡、相談の大切さや仕事を通じて職員間でのコミュニケーションの取り方などを伝えています。ベテラン職員によるOJTも日常的にあるほか、問題点を共有し合うなど、職員の士気は高まっています。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		37 / 37	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
評点(〇〇〇〇〇)			
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している		○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		○ 非該当
● あり ○ なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○ 非該当
● あり ○ なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○ 非該当
評価項目1の講評			
<p><b>子どもの発達状態を把握し、発達のねらいやかかわり方を記録しています</b></p> <p>子どもの発達状態については、日々の連絡帳や活動の様子、保護者との個人面談、クラス懇談会などを通じて把握し、児童票や保育日誌などに記録するとともに、保育課程や年間、月間指導計画の計画案に、発達のねらいやかかわり方を記入しています。状態を把握するうえで、子どもの発達状態を振り返ることや、子どもの変化を見逃さないよう、表情や態度、行動を観察することを大切にしています。安心して過ごせる環境を作るとともに、子どもの健やかな育ちを園長や副園長、主任、各クラス担当、全体の職員が一体となって見守っています。</p> <p><b>子どもが主体的に遊びを楽しみ、健康な身体を作るよう援助しています</b></p> <p>園目標に「太陽のような子どもになりましょう」を掲げており、「たくさん遊び健康な身体をつくる」ことをねらいとしています。200名定員の園であり園庭に一齐にすることは難しい条件の中で、園庭の使用表をもとに、クラスごとに思いきり遊びを楽しんでいます。リレー競争をしたり、虫取りに夢中になったり、広い砂場で砂遊びをするなど、園庭での遊びを充実させています。室内では各種ブロックで構成遊びをしたりと、静と動の遊びをバランスよく行っています。活動を一層活発にするため、目を閉じて心を落ち着かせる時間をとっています。</p> <p><b>特別な配慮が必要な子どもの育ちを見守り、集団保育に配慮しています</b></p> <p>特別な配慮が必要な子どもについては、家庭や関係機関と連携を密に取りながら、集団生活の中で統合保育をしています。子どもの成長発達をきめこまやかに見守ることを大切にしており、個別の計画を立て援助の要点も定めています。個別に職員がマンツーマンでつく場合もあり、集団生活の中で、無理なく過ごせるよう配慮をしています。子どもは自分の力を発揮し、自分のペースで楽しく園生活を過ごしています。</p>			
2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている			
評点(〇〇〇〇)			
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている		○ 非該当
● あり ○ なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○ 非該当
● あり ○ なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○ 非該当

評価項目2の講評

登園時の保護者対応は関係性を深めるよう、ていねいに実施しています

登園時の保護者対応については、毎朝園長が8時30分～9時20分ころまで玄関前に立ち、保護者との関係性の構築や子どもの危険防止のため、保護者や子どもを一人ひとり温かく迎え入れています。各クラスでは、職員が保護者と子どもに一齐に「おはようございます」の声掛けをし、迎えています。保護者に前日の様子を聞いたり、「変わりがないか」を確認したり、子どもの表情や態度、機嫌などを観察して受け入れています。0歳児クラスは、特にていねいに、職員と保護者が子どもを中にして向き合い、検温や子どもの様子などの話をしていきます。

健康な身体作りのため、基本的な生活習慣の確立を目ざしています

子どもの健康な身体作りのためには、園と保護者が一体となって基本的な生活習慣を身につけることを大切にしています。健康な身体作りの一つとして、薄着の習慣を心がけたり、園生活の中で一日に数回「目を閉じて心を落ち着かせる」時間をとっています。生活リズム(起床・就寝・食事時間)を崩さないよう留意しています。保育課程や年間・月間指導計画にも、基本的な生活習慣のねらいを掲げるほか、保護者にも、「入園のしおり」や園だよりに、季節ごとに健康な身体作りに向けた記事を載せ、大切にしたい要点を伝えています。

お迎え時は、保護者対応を確実にを行うよう、工夫して取り組んでいます

お迎え時の保護者対応として、職員は保護者との対話を大事にしており、園内で話し合う保護者と職員の姿が随所に見られ、保護者も職員に自然体で話しかけ、和やかな雰囲気となっている様子が訪問調査時に見られました。また、園では、お迎え時には担当職員は必ず保護者の確認をし、子どもを引き渡しています。そのために免許証などの確認コピーを取り、間違いのないよう配慮しています。園では、保護者に子どもを引き渡す際は、ていねいに行うよう努めています。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○ 非該当

評価項目3の講評

日常の保育は保育目標に沿って実施し、子どもの育ちを支援しています

保育目標として、「太陽のような子どもにならましよう」を掲げています。日々の保育はこの保育目標を目ざして、たくさん遊んで健康な身体を作ったり、音楽や歌を通して明るく豊かな心を培ったり、人とかかわりや身近な動植物と触れ合い命の大切さを知り、思いやりの心をはぐくむことに努めています。保育課程をはじめとし、月間、年間指導計画に具体的な取り組みを明記しています。子どもは元気に遊び、自己表現をし、のびのびと園生活を過ごしています。職員は、子どもの育ちを援助するよう、明るい態度で子どもにかかわっています。

子どもは、年間を通して戸外遊びや集団活動に主体的にかかわっています

当園では、年間を通して戸外での遊びを十分に楽しむことをねらいとしており、保護者にも年間の戸外活動の取り組みを知らせています。「全身運動を活発にする」や「健康や安全の習慣を身につける」など具体的な目標を立てています。集団活動では、3～5歳児クラスまで、毎月2回、専門講師による年齢に応じた「体操教室」を実施しており、運動機能を伸ばし、いろいろな経験をし、達成感を得ています。また、特色ある取り組みとして、4歳児クラスは年度後半から、5歳児クラスは年度初めから和太鼓指導を月2回、楽しみながら実施しています。

周辺には季節の自然を感じ取れる公園があり、子どもは楽しんでます

園の周辺には、季節の自然を感じ取れる「里山民家」や公園があり、各クラスの子は日常的に散歩に出かけたり、お弁当を持って遠足に行ったりしています。自然いっぱいの「里山民家」や公園では、全身を動かして活動的な運動をしたり、四季折々に咲く花を観ています。年間指導計画にも「里山民家」の遠足計画を載せています。子どもたちは、歴史のある広い里山の自然に触れ、すばらしい自然体験をしています。散歩や遠足時は、山林や田んぼが多いので、害虫に注意をしています。

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

**行事を通して生活にメリハリをつけたり、達成感を味わっています**

主な園行事として、運動会や音楽発表会、クリスマス会、表現発表会などを行っています。個々の生活を大切にするとともに、4、5歳児クラスは、クラスでまとまり、行事をやり遂げる達成感や充実感を味わう体験をしています。特色ある行事の取り組みとしては、日ごろから練習している太鼓、創作太鼓、曲太鼓を、園内だけでなく地域のお祭りの際も披露しています。運動会では、体操教室の成果を年齢ごとに発表するなど、子どもは行事に熱意を持ってかかわっています。また、行事の数は、無理のないようバランスを考慮しています。

**子どもが自ら体験できる楽しい行事を実施し、喜びにつながっています**

子どもが自ら体験する行事として、地域の特産物であるうどん作りやじゃが芋掘りを行っています。うどん作りは、粉を練って生地を作り切るなど、手作りを楽しんでいます。じゃが芋掘りは、園長宅の畑を使用し、苗から植え、収穫しています。じゃが芋掘りは、子どもの喜ぶ作業であり、収穫したじゃが芋を園の給食にも出し、自分たちで手掛けた農作物をおいしく食べています。また、5歳児クラスの園内でのお泊り保育は、子どもにとって新しい体験であり、みんなと協力し合ってお泊り保育を充実させています。

**保護者を招く行事や地域の行事に参加し、おとなとの交流を深めています**

保護者を招く園行事として、運動会や夏祭り、表現発表会などがあり、保護者と関係者を招いています。行事日程は利用者アンケートを参考にして決めたり、行事のお知らせは年度当初に「年間行事予定」を伝えています。園だよりにも行事の1か月前に詳細を載せ、保護者参加を呼び掛けています。不特定の地域の方々を園行事に招くことは、現況では実施していませんが、地域のお祭りに子どもは和太鼓演奏をしたり、付近の神社の節分祭に参加したりと、地域の中の保育園としての役割を果たしています。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目5の講評

長時間保育の子どもが楽しく過ごせるよう、保育カリキュラムを立てています

当園は、午前6時30分から7時までを早朝保育、午後6時から7時30分までを夕方保育としています。延長保育が必要な場合は、延長保育登録をし、園長の許可を必要としています。延長保育の時間帯は異年齢で過ごす時間もあり、年齢の高い子が年下の子をいたわる場面や年少児が年上の子のまねをする場面も見られています。「夕保育カリキュラム」を作成し、「異年齢児とのかかわりを通して年齢に応じた活動をする」のねらいや留意点、活動内容、自己評価を記載しています。がん具類もブロック類やパズル、ぬり絵ほかを用意しています。

職員間で、日中の子どもの様子を漏れなく伝え合う工夫をしています

園児数が多い園のため、日中の子どもの様子を職員間で漏れなく伝え合う工夫をしています。各クラスの職員は、口頭での連絡ではなく、紙ベースでの連絡も工夫しています。「早番遅番伝言票」や「お迎え変更票」を作成し、日々の送迎時に活用し、伝言ミスや保護者への引渡しミスがないよう注意を喚起しています。職員は確認印を押印し、責任の所在を明確にしています。また、土曜日の保育に関しては、金曜日の昼間に引き継ぎを行い、土曜日の子どもの受け入れ体制を確認しています。

お迎え時には、保護者とのコミュニケーションを深めるよう努めています

お迎え時の保護者に対して、クラス内で対応する時は、居合わせた全職員が保護者に「おかえりなさい」の声掛けをしています。日中の様子や夕方保育時の様子を口頭でも伝えていきます。子どもの様子の伝え方は、具体的な活動の姿や連絡事項などを話しており、保護者との会話が弾むよう努めています。玄関先では、他のクラスの職員も、顔を合わせた保護者に言葉をかけています。保護者と職員のコミュニケーションを深めるよう、日々努めており、良好な関係を築いています。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	○ 非該当

評価項目6の講評

季節ごとの献立や食事を楽しむ工夫をし、子どもはおいしく食べています

季節ごとの献立として、お月見のうさぎまんじゅうや秋には栗ごはん、クリスマスは手作りケーキ、誕生会には季節のフルーツを使ったおやつを提供しています。修了式は、子どものリクエストメニューを作り喜ばれています。食事の雰囲気作りについては、行事によってランチョンマットを使用しています。日々の食事時においては、配膳中は静かに待つ習慣や食前食後のあいさつをきちんとしています。食事マナーでは、正しい姿勢で食べることや茶碗に手を添えて食べるようしつけています。約束事を守り、楽しい食事となるようにしています。

食の安全を守りながら、子どもや保護者にも食事を提供しています

食の安全を第一に、食材の味を生かし薄味の調理方法や国産の食材、献立には毎日旬や初物の果物を出しています。切り方は、子どもが食べやすい大きさに切ったり、離乳食は子どもの様子を見ながら段階を進めています。食物アレルギーを持つ子どもは誤食を防ぎながら、徐々に普通食に移行する場合があります。子どもへのおいしい食事提供のほか、保護者にも給食試食会を開催し、アンケートを取り感想をもらっています。また、お勧めレシピ(子どもが好きな献立や簡単献立など)を毎月一定場所に設置しています。

計画的に食育の取り組みを行い、食への関心を培っています

栄養士は年齢別の食育計画を立て、計画の実践に努めています。食への興味を持たせるため、魚の話をしたり、さけ一尾の解体やトマトの話やペーパーサートを作り子どもに知らせています。毎日、食事前のひとときには、今日の献立の食材について、ペーパーサートなどを使いわかりやすく説明しています。クラスごとに担当職員といっしょに調理体験の計画書の下に、調理保育を実施しています。栽培や食事マナーにも取り組み、はしの持ち方やスプーンの持ち方などを実践を交えながら子どもに指導するなど、食育活動を展開しています。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○ 非該当

評価項目7の講評

**けがへの予防が身につくよう、安全性を保つ取り組みをしています**  
 けがの防止については、4月に担任が遊具の使い方をわかりやすく子どもに知らせています。遊具類の点検は、園庭掃除のとき危険箇所をチェックし、園長に報告し、修理が必要な場合はすぐに対応し、安全性を確保しています。また、交通安全教室を行い、警察官が園を訪れ、腹話術を見せたり、安全な横断歩道の歩き方を体験したりしています。散歩時には、子どもに約束事を話し、職員が列の前後について安全に目的地まで出かけています。散歩届を提出し、救急バックや携帯電話など準備を整え出かけています。登降園時の交通擁護員も確保しています。

**医療面のケアや健康教育を実施したり、健康面に留意しています**  
 既往歴があり医療面のケアが必要な子どもは、保護者から子どもの症状の変化を聞き、注意深く観察や対応をしています。職員全体も子どもの症状を周知しており、体調変化時の対処の仕方を認識しています。子どもに対する健康教育として、看護師が主になり、2～5歳児クラスを対象に歯磨きや手洗い指導、特に目に変化が表れる4歳児クラスは目の話や目の検査を手作りの検査表を使い実施しています。そのほか、頭の大切さや咳のしかたについても子どもに知らせており、看護師は健康についての知識を、わかりやすく伝えるよう機会を設けています。

**感染症予防や乳幼児突然死症候群の予防について保護者に伝えています**  
 感染症予防や乳幼児突然死症候群の予防についての保護者への伝達は、入園時の説明会のおりに資料を配付したり、園だよりの「子どもすこやかサポート」の欄に、季節に発生する感染症情報や対処のしかたなどとともに載せ、伝えています。園内では、AEDのほか、感染症発生時の対応として嘔吐下痢グッズの設置をしています。AEDは、年1回、消防署より指導を受け、プール前には使用方法を確認しています。救命救急の資格は副園長が持っています。睡眠時の乳幼児突然死症候群の予防のため、0～1歳児クラスは睡眠チェックをしています。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○ 非該当

評価項目8の講評

個々の保護者の就業状況に応じた支援を行っています

個々の保護者への就業状況に応じた支援として、急な仕事の変更時の送迎時間の変更対応や乗り物の遅延など、状況に応じた対応をしています。勤務時間の関係で、延長保育を希望する保護者には、延長保育登録の申請書を園長に提出してもらい、園長が許可をしています。定員は20名～25名程度としており、必要な家庭は利用しています。一方、送迎時の保護者への引き渡しはしていけないに行っており、引き渡しについては確実に実施できるよう、保護者に同意をもらっています。

クラス懇談会や保育参観を通して、保護者同士の交流を深めています

保護者と交流を持つ機会として、クラス懇談会や保育参観、保護者面談の機会を設けています。クラス懇談会は、栄養士や看護師の話やクラスの年間の保育のねらい、活動、生活、食育と健康面などを伝えたり、意見交換をしています。質疑応答の内容によっては、園長が対応をしています。同時に試食会を実施しています。保育参観は「保育参観のお知らせ」を配付し、出席の申し出を確認したり、参観時間や保育内容を知らせています。保護者面談は実施した保護者との話の内容を「保護者面談記録」に記入し、子どもへのかかわりに生かしています。

保護者との信頼関係を築く取り組みを行い、職員との関係性が深まっています

保護者との信頼関係を築く取り組みとして、日中の保育の活動内容を記入したクラスの保育日誌をファイルに入れ、一定場所に置き閲覧できるようにしており、保護者も関心をもって閲覧しています。保護者面談や毎日の送迎時の会話からコミュニケーションを取ったり、保護者の要望にも真摯に対応しています。「利用者からの苦情解決の取り組みに関する実施要綱」の冊子を作成し、「苦情受付報告書」に記入した苦情を解決し、「話し合い結果報告書」にまとめるなど、苦情処理の対応をきめこまやかに実施しています。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	○ 非該当

評価項目9の講評

地域子育て支援事業を計画し、実施の予定を立てています

地域子育て支援事業として、園庭解放、出前保育、一時保育を企画し、地域の親子の受け入れ体制を築いています。子育てサークルには訪れる地域の親子のニーズがなく、活動困難な状況です。園庭開放も「いつでもどうぞ」と受け入れる姿勢はあるものの、地域の親子が訪れる機会は少ない状態です。園庭解放時に遊びに来た親子には、園児と触れ合う機会を作りいっしょに遊んでもらっています。近隣の公園で出会った親子とは、公園で遊びの場を共有していっしょに遊んだり、地域の親子同士が交流できる場を設けています。

地域子育て支援事業の評価や対策を考慮しています

過去に子育てサークルの実績があり、園では継続したい思いはあるものの、近隣の親子が訪れるケースがあまりない状況です。子育てサークルの門戸を開いても近隣に利用者がなかなかいない状況であり、実現が難しいと園では考えています。今後、このような状況が続くとしても、地域子育て支援事業のあり方を園では認識しています。しかしながら、地域の親子がいない状況の中では、事業の継続は困難だと考えています。また、部屋の確保はあるものの、一時保育は職員の確保ができない現況があり、実施予定が立っていません。

調査対象

保育園を利用している147世帯を対象に調査を実施しました。兄弟姉妹の居る世帯は1世帯として扱いました。児童数は202名です。利用者総数に対する回答者割合は17.0%でした。

調査方法

アンケート調査は無記名方式で、配付は施設を通じて利用者へ手渡し、回収は保護者から直接評価機関へ郵送する方法によりました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。

利用者総数

147

共通評価項目による調査対象者数

147

共通評価項目による調査の有効回答者数

25

利用者総数に対する回答者割合(%)

17.0

## 利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が11人(44%)、「満足」が12人(48%)で「満足」以上の回答は合計23人(92%)でした。

自由意見には、「毎月の手書きのお手紙や、毎日のお便り帳では、子どもの気持ちを汲み取り、時には甘えさせてもらっていること、時には自立を促してもらっていることが伝わってくる。安心して預けられることに本当に感謝しています」「とても清潔でとても感じのよい保育園です。長くお世話になっていますが、変わらず、とても親切でよい保育園だと思います」など、園に信頼を寄せる声が見られます。

質問別に見ると、「施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか」で96.0%、「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」「保護者の考えを聞く姿勢があるか」でそれぞれ92.0%の保護者が「はい」と回答し、満足度が高い様子が読み取れます。

一方、「外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか」に対して「はい」の回答が24.0%とやや低くなっています。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	23	1	0	1
<p>「はい」が92.0%、「どちらともいえない」が4.0%、「無回答・非該当」が4.0%でした。</p> <p>自由意見には、「いつもおいしそうで品数も豊富、毎日完食させて頂いてとてもありがたい」「とても工夫されていると思います、子どももすごく喜んでいて毎日食べた物を教えてください」「家ではあまり食べないが保育園の給食はよく食べる」などの声がありました。</p> <p>その一方で、「その状況になったことがないのでわからない」という意見もありました。</p>				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	20	3	1	1
<p>「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が12.0%、「いいえ」が4.0%、「無回答・非該当」が4.0%でした。</p> <p>自由意見には、「先日お散歩でお外へ行ったのが子どもはすごくうれしかったみたいで、その話をずっとしています」という声がありました。</p> <p>その一方で、「あまり外部との関わりがないと思う」という意見もありました。</p>				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	11	9	0	5
<p>「はい」が44.0%、「どちらともいえない」が36.0%、「無回答・非該当」が20.0%でした。</p> <p>自由意見には、「とても親切にしてくれます」という声がありました。</p> <p>その一方で、「利用したことがない」という意見もありました。</p>				

4. 安全対策が十分取られていると思うか	21	2	1	1
「はい」が84.0%、「どちらともいえない」が8.0%、「いいえ」が4.0%、「無回答・非該当」が4.0%でした。 自由意見には、地震や災害が起きた場合の対応を知りたいといった声がありました。				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	21	2	1	1
「はい」が84.0%、「どちらともいえない」が8.0%、「いいえ」が4.0%、「無回答・非該当」が4.0%でした。 自由意見には、「ほかの保育園だと役員があったりと大変そうですが、こちらはなく、とても親としたら助かります」という声がありました。 その一方で、「懇談会や説明会などの日程のお知らせが遅すぎる」という意見もありました。				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	21	3	0	1
「はい」が84.0%、「どちらともいえない」が12.0%、「無回答・非該当」が4.0%でした。 自由意見には、「経営層の先生が話しやすくとてもいいです」という声がありました。				
7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	23	1	0	1
「はい」が92.0%、「どちらともいえない」が4.0%、「無回答・非該当」が4.0%でした。 自由意見はありませんでした。				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	24	0	0	1
「はい」が96.0%、「無回答・非該当」が4.0%でした。 自由意見には、「朝早くから先生が掃除をしてみえて本当感謝です」という声がありました。				
9. 職員の接遇・態度は適切か	21	3	0	1
「はい」が84.0%、「どちらともいえない」が12.0%、「無回答・非該当」が4.0%でした。 自由意見には、「みなさん笑顔で安心できます」という声がありました。 その一方で、「玄関や階段等、通り道で保護者と話しこむ先生がよくいる、端に寄るなどしてほしい」という意見もありました。				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	21	2	0	2
「はい」が84.0%、「どちらともいえない」が8.0%、「無回答・非該当」が8.0%でした。 自由意見には、「一度子どもが体調を崩した時にすぐ連絡をいただきました」という声がありました。				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	13	8	0	4
「はい」が52.0%、「どちらともいえない」が32.0%、「無回答・非該当」が16.0%でした。 自由意見には、「まだ経験がないので」「今まで大きなトラブルがないので」などの声がありました。 その一方で、「少しトラブルがあった時、ちょっとあいまいに感じたことがあった」という意見もありました。				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	21	3	0	1
「はい」が84.0%、「どちらともいえない」が12.0%、「無回答・非該当」が4.0%でした。 自由意見には、「みなさんが笑顔ですごくいいかんじです」という声がありました。				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	19	5	0	1
「はい」が76.0%、「どちらともいえない」が20.0%、「無回答・非該当」が4.0%でした。 自由意見はありませんでした。				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	20	4	0	1
「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が16.0%、「無回答・非該当」が4.0%でした。 自由意見には、「わかりやすく説明して下さるのですごく助かります」という声がありました。				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	15	5	1	4
「はい」が60.0%、「どちらともいえない」が20.0%、「いいえ」が4.0%、「無回答・非該当」が16.0%でした。 自由意見には、「経験がないのでわかりません」という声がありました。				
16. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	6	13	4	2
「はい」が24.0%、「どちらともいえない」が52.0%、「いいえ」が16.0%、「無回答・非該当」が8.0%でした。 自由意見には、「どこかにあるのかもしれないのですが、気にして探してないので目につくところにはないと思います」「経験がないのでわかりません」などの声がありました。				